

平成19年仕事納め式訓示

平成19年12月28日

みなさん、平成19年の仕事納めを迎えました。

一年間、本当にご苦労様でございました。

心から御礼を申し上げる次第でございます。

今あらためて、今年を振り返ってみますと、私は、今年も、議会との市町村合併問題の協議と温泉開発に終始したという思いがいたします。

「礼文町に元気を」ということで今年の春、温泉掘削に着手したところではありますが、礼文島の硬い岩質のために掘削が遅れたわけでありまして、工期を3月20日まで延長させていただいたところでございます。

そして、温泉掘削をした中で、わかったことがひとつございます。

それは、礼文島の地下の温度は低いというふうに云われておりまして、これまでは100mで2～2.5℃しか上がらないのではないかと云われてきたものが、実際には3～4℃

近く温度が上がっており、礼文島の地下は意外と暖かいということをごさいますして、1,300メートルの深さで地温が57℃あるのでごさいます。

このため、道立地質研究所の所見では1,500m以上掘らなければ温泉のお湯の温度がとれないというふうに云われておりましたが、今回の掘削データから1,300mでも温度は十分という見解が出されたところであります。

しかし、問題はお湯の量が十分にあるかということですが、1,300mまで掘った中では、温泉が期待できる箇所が数箇所確認されております。

こうしたことから、私は、現在の深さで「お湯の汲み上げ試験」を行うこととし、去る20日に議員協議会を開いて決定させていただきました。すでに21日からその作業を進めておりました、来月の末には判明すると報告を受けております。現在の経過でも、お湯が湧き出ておりました、お湯の温度も高い温度が期待できるとのことをごさいます。

職員のみなさんにも色々ご心配をおかけしましたが、明るい兆しが、今、大きな期待となっております。あと一月楽し

みにお待ちいただきたいと存じます。

また、温泉入浴施設の建設場所も議会との協議で、香深港の港湾用地に決定をいたしております。

建設工事も国の補助金2億円をいただけるために2ヶ年の事業となる予定であります。来年は、プロジェクトのみなさんには、更に多忙な一年となると思いますが、よろしく願いをいたします。

次に、市町村合併問題につきましては、新法の期限を見据えますとあと2年しかありませんが、議会のみなさんとは合併に向かっていかざるを得ないという共通の認識を持つことはできております。

すでに、みなさんには庁内イントラ等でご承知のように、私は、これからの地方分権型社会に対応する基礎自治体が具えるべき「行政能力」「財政能力」「自治能力」の三つの能力を充実強化するために合併するという基本的な考えにたって、人口規模が小さく、財政基盤が脆弱な利礼三町だけの枠組みでは三つの能力の充実強化に大きな不安を持たざるを得な

いことから、より人口の多い、また、財政規模の大きい稚内市を含めた枠組みを目指さなくてはならないという考えでございます。しかし、利尻二町は稚内を向いてはおりませんので、礼文町だけであっても稚内市との合併に向かうべきという考えを地域懇談会においても町民のみなさんにお話をさせていただき、多くのみなさんから温かいご理解ご支援をいただいたところでございます。特に、過疎化が進んでいくわが町の将来に不安を抱いているご意見や小さな島の私達の声が大きな市に届くのかということ懸念するご意見等はしっかりと受け止め対処しなければならないと思っています。

今後更に議会との協議をすすめ、新年においては、具体的な合併協議のテーブルにつかなければならないと思いますので、職員みなさんのご理解とご協力をお願い申し上げる次第でございます。

また、今年も、議会や監査委員さんから税の未収問題について指摘をいただき、特に、管理職のみなさんには、特別徴

収班を組んでご協力をいただきました。おかげで、通常の2倍以上の金額を徴収できたと報告を受けておりまして、心から感謝を申し上げるところでございます。もちろん、税担当の職員のみなさんには、更に頑張っていたただかなくてはなりません。年度末に向けて、まだまだ大変な時期が続くわけです。どうか、税の徴収や使用料等の収納に、尚一層のご努力をいただきますよう、改めて、お願いを申し上げる次第でございます。

また、早期退職制度の導入についても、職員のみなさんには大変温かいご理解をたまわりましたことに御礼を申し上げるところであります。

来年度からの施行となるわけですが、これは、退職手当組合の規定との整合性を図るねらいがあるわけですので、ご協力をいただきたいと思います。

さて、今年もいろいろな出来事がありました。今年を漢字一文字で表すと「偽」という字だそうでございます。

安全であるはずの「食品」の産地や原材料の偽装や賞味期限の改ざんなど、近年は人間生活に欠かせない「住宅の安全基準」や「食べる」ことに関してのさまざまな「偽装」が発覚し、人間として恥ずべきことであると思います。

こうした中で、私達は、またしても今年6月に、一緒に仕事をしてきた若い職員を失ってしまいました。

彼の将来と家族に悲しい思いをさせたこと。 それぞれが、このことを自分のこととして私達は決して忘れてはならないと思います。

来年こそ、一人ひとりが自分を律する気持ちを持って、良い年にしていただきますようお願いをしたいと思います。

いよいよ、明日から9日間の休みになります。

久々の長期間の休みでございますが、今年の仕事始めの際に

「皆さんの持つておられるものを最大限に発揮して、礼文に元気を取り戻していただきたい、また、公務員を選んだみなさんにとってはつらい苦しい一年になるかもしれないけれども頑張ってもらいたい」と申しあげました。

しかし今、町民の皆さん方も非常に苦しい厳しい現実遭遇しているわけであります。

こうした中で、私は、今こそ、職員のみなさんが町を元気にする原動力になっていただきたいと思ひます。

みなさんお一人お一人の力が、ふるさと礼文町を元気にできるということを是非とも今一度、意識していただきたいと思ひわけであります。

そのために明日から大切なご家族ともども、ゆっくりとお正月をすごされまして、きたる新しい年に向かつて、しっかりと鋭気を養っていただきますようお願ひを申し上げる次第でございます。

最後に、交通事故には十分気をつけられ、事故をおこさない、事故に遭わないようお願ひを申し上げまして、仕事納めのあいさつといたします。

今年一年、大変ありがとうございました。